



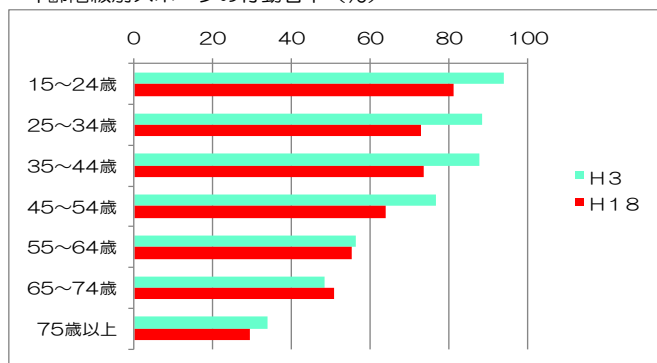
統計スポット情報

— スポーツの秋がやってくる!! —

なでしこジャパンがとうとう、サッカーの女子ワールドカップで優勝しました。そして、ロンドン五輪アジア最終予選で、見事ロンドン五輪行きの切符をつかみました。気迫あふれる熱戦に、テレビの前で釘づけになっていた方も多かったのではないかと思います。今度は、皆さんもテレビの前から離れて、いろいろなスポーツに挑戦してみたいはかがででしょうか。

今回は、スポーツに関する統計を集めてみました。

年齢階級別スポーツの行動者率 (%)

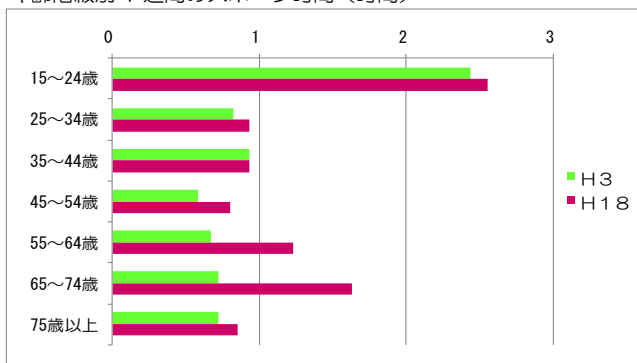


※過去1年間の生活行動についての調査

※行動者率：調査日（10月20日）を基準とした過去1年間に、個人の自由時間の中でスポーツを行ったことのある人（注）が人口に占める割合。
学生が体育の授業で行うものや職業スポーツ選手が仕事として行うものを除く（クラブ活動や部活動は含む）。

（注）時間、日数に係らず少しでもスポーツを行ったことのある人とする。

年齢階級別1週間のスポーツ時間（時間）



※1日の生活時間の配分についての調査

※スポーツ時間：調査日（10月20日）を含む9日間のうち連続した2日間にスポーツをした時間

1週間のスポーツ時間：

（平日総平均時間×5＋土曜日総平均時間＋日曜日総平均時間）

出典：総務省「社会生活基本調査」

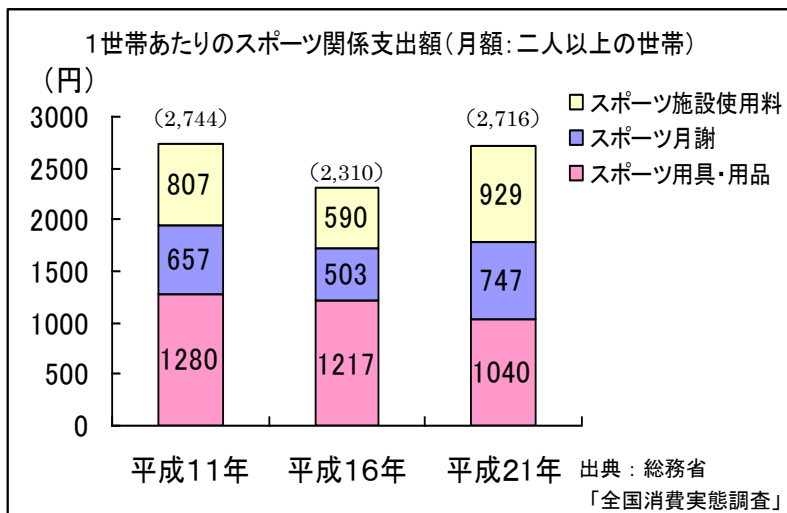
過去1年間での年齢階級別スポーツ行動者率を見てみると、65~74歳階層を除き、平成3年よりも平成18年が減少しています。

しかし、スポーツに好適な時期の1週間におけるスポーツ時間は、どの年齢階層でも平成18年の方が長くなっています。特に65~74歳では平成3年の約2倍の長さになっています。



次に、福井の人がスポーツ関係にかけている金額を1世帯あたりの平均で見てください。データがとれる平成11年から平成21年までの10年間では、総額にあまり変化はありません。

しかし、内訳を見てみると、近年はスポーツ用具・用品への支出は減っていますが、月謝やスポーツ施設使用料（フィットネスなどの使用料を含む）への支出は増えています。



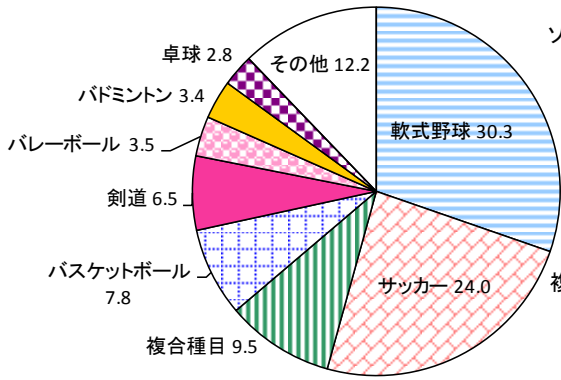
※調査時期：9月~11月の3カ月間

月額：1世帯当たり1カ月間の消費支出額

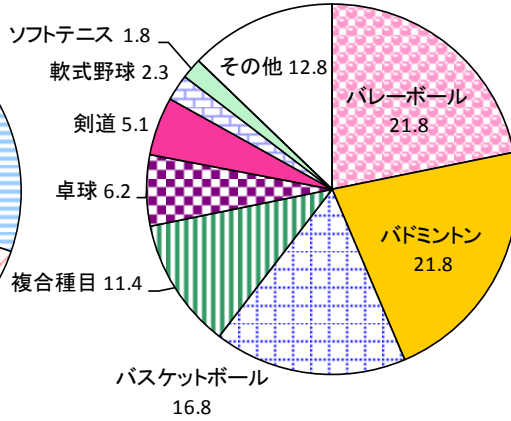
出典：総務省「全国消費実態調査」

福井県内のスポーツ少年団競技別加入者割合（平成 22 年度・％）

【 男子 】



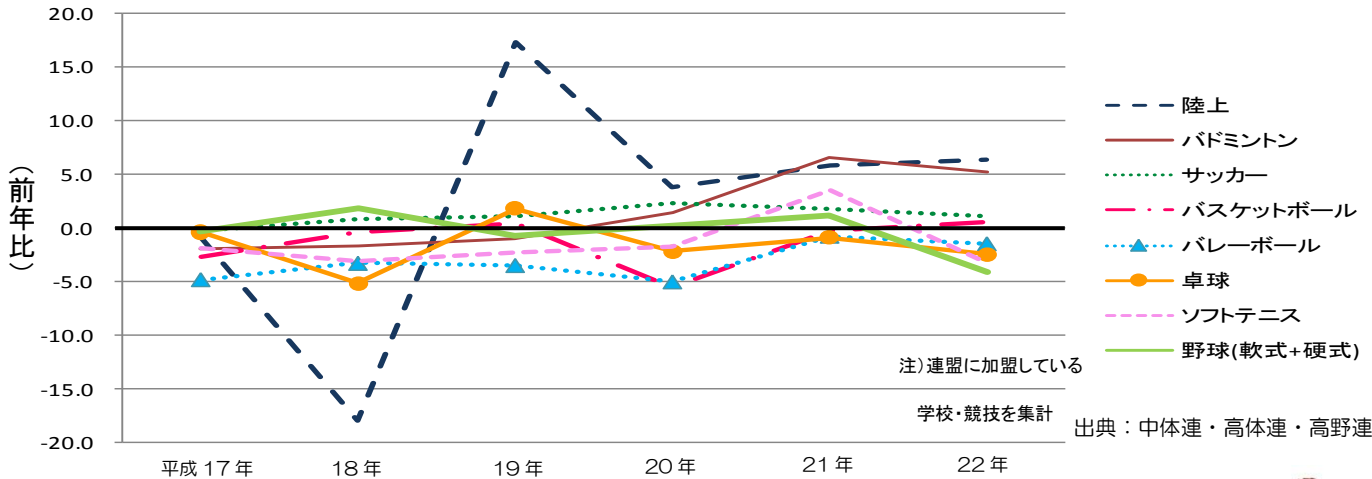
【 女子 】



福井県内のスポーツ少年団の加入状況を見てみると、男子では軟式野球、サッカーの割合が高くなっています。一方、女子はバレーボール、バドミントン、バスケットボールの割合が高く、屋内のスポーツに人気があるようです。

出典：日本体育協会調査

中学生・高校生（福井県）の主な運動部加入者数（前年比）の推移（％）



次に、福井県の中学生・高校生の主な運動部加入者数の前年比の推移を見てみましょう。陸上部の加入者数は平成 18 年の急減、平成 19 年の急増を経て、近年は 5% 台をキープしています。また、バドミントンは 20 年以降マイナスからプラスに転じ、サッカーは毎年、若干の増加を維持しています。

陸上やバドミントンの加入者数が増えた背景の 1 つには、オリンピックや世界陸上大会などのビックイベントで日本人選手が活躍したことに影響を受けたことがあるのかもしれない。



平成 23 年 10 月 20 日現在で
「社会生活基本調査」を行います。



国民の生活時間の使い方やさまざまな活動状況を調べ、よりよい暮らしと社会のために活用されます。調査員がおうかがいしましたら、ご協力をお願いします。



平成 24 年 2 月 1 日に、
「平成 24 年経済センサス-活動調査」
を実施します。

我が国のすべての事業所・企業を対象とする大規模な統計調査です。
どうぞよろしくをお願いします。

